

～スーパーマリン・スピットファイア(Spitfire) Mk.I



[ドイツ空軍の Bf-109E と→]

本機、スーパーマリン・スピットファイア Mk.I は、バトルオブブリテンで、ドイツ空軍を撃退した英国空軍の主力戦闘機です。スーパーマリン社は、その名の通り、小型・中型の飛行艇も製作していましたが、同社の名を挙げたのは、1935年に開催された、飛行機の最高速度を競うシュナイダー杯で優勝した S6B 水上機です。現在も、過酷なレースで得られる知見を量産車に活かすために大手自動車メーカーが F-1 やル・マン耐久レースに参入していますが、スーパーマリン社がシュナイダー杯で得た知見は量産機であるスピットファイアに活かされます。マーリンエンジン搭載型に限っても、スピットファイアは MK.XVI 型まで改良されて生産され続けますが、これも胴体及び主翼の基礎設計がしっかりしていたからだと思われます。S6B の設計者でもあったレジナルド・ミッチェルは、この原型となる Type300 の設計後、量産型 Mk.I の完成を見ずに病没しますが、このように彼は英国に大きな遺産を残しました。Mk.I の特徴的塗装は、下面半分の黒色塗装ですが、これは空戦時、相手にこちらの機動を混乱させるためだったようです。子供の頃、レベル 1/32 の箱絵に描かれた、この左右非対称塗装をカッコ悪く思った記憶がありますが、この年になると味のある塗装に思えて(焼き鳥のシシトウと同じ? w)、同塗装がされた機体を選択しました。

【模型について】

タミヤ(TAMIYA)製の 1/72 のキットです。ベーシックなとても良いキットで、ヨドバシカメラのような量販店で手軽に安価で入手できるという点で同社には感謝しかありません。上の写真はバトルオブブリテン 40 周年記念プレート(コーンポート社製)ですが、ミッチェルの出身地、Stock-on-Trent 市にはウェッジウッド社があり、窯業が盛んな街でした。



(中川裕幸 2021年10月)